

関西化学研究所 津田サイエンスヒルズ まちづくり協議会ニュース

発行所
津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会
〒573-0128
枚方市津田山手2-1-1
吉泉産業(株)内
TEL (072)858-5901
FAX (072)858-5904
(題字:墨アーティスト 植笠幸三書)



ご来賓による開校式のテープカットにまち協から佐々木会長が出席

枚方市の津田サイエンスヒルズ内に、ものづくりの人材育成の拠点となる府立北大阪高等職業技術専門校が、去る4月16日開校した。

同校は老朽化した守口、東淀川の両高等職業技術専門校を統合して新たに設置されたもので、約1万4千平方メートルの敷地に地上4階建ての校舎を配置。訓練期間は1年で、18歳以上が対象で定員230人。

①ものづくり基盤技術科②微細加工工コン

府立北大阪高等職業技術専門校

4月16日開校

コンピュータ制御科③産業ロボットシステム科④組込みシステム科⑤建築設計科⑥住宅エネルギー設備科⑦住宅リノベーション科⑧ワークトレーニング科の8科目を備える。

また、知的障がい者を対象とした職業訓練を実施する。

さらに同校は、津田サイエンスヒルズ内の

技専校校長・指導員の先生方
津田ヒルズの各企業を見学

北大阪技専校の開校に伴い、大江校長をはじめ指導員の先生方23名が、去る5月22日津田サイエンスヒルズまちづくり協議会の11社を3班に分れ、企業見学会を行った。

この取組みは今後授業を行うにあたり、企業ニーズに合った生徒を送り出すための職業教育の充実に向け、企業の現場管理者と意見交換を目的に行なった。

指導員の先生方から生徒の企業見学の受入について、社員教育の具体的な取組み内



企業視察：プールミッシュ

恵まれた環境を最大限に活かし、地域の企業、大学と連携し、ものづくりや建築の分野において最先端の訓練を行い、企業のニーズに対応した技術者の育成を目指している。

容・従業員の求人方法、採用時期・不足している従業員の職種・もつとも必要とされる技能や技術者として求められるものなど専門的な質問がなされた。

各企業からも「即戦力のある技術教育を受けた卒業生を期待する」との声があった。

第6回 ボーリング大会

43チーム 164名参加

北大阪技専校、大江校長ら初参加

団体戦優勝
河内金属製作所Aチーム



個人戦優勝
中村啓太さん
(植田工業)



ボーリング大会成績表

団体戦	優勝	河内金属製作所Aチーム (福島、高橋、平佐、前田)
	準優勝	プールミッシュAチーム (坂井清、坂井直、吉川、能美)
	3位	イオンテクノセンターAチーム (浅利、白神、森田、肥田)
個人戦	優勝	中村 啓太 (植田工業)
	準優勝	高橋 佳子 (河内金属)
	3位	肥田 志織 (イオンテクノセンター)

津田サイエンスヒルズ杯第6回親善交流ゴルフ大会を、5月25日枚方国際ゴルフクラブで開催した。

この大会には、まちづくり協議会の経営者、従業員5組19名が参加した。

成績はハンデイヤップにも恵まれ、佐々木智子さんが2回連続優勝を果たした。

ゴルフ大会成績表

		NET
優勝	佐々木 啓子 (吉泉産業)	65.0
準優勝	植田 信雄 (植田工業)	65.7
3位	能美 正 (伸和製作所)	66.8
4位	佐々木 啓益 (吉泉産業)	69.0
5位	山岡 日出夫 (坂本精器)	72.6



第6回 親睦交流ゴルフ大会

5月25日 枚方国際G.C

津田サイエンスヒルズ第6回親善交流ボーリング大会を、4月19日京阪電車牧野駅前の牧野松園ボウルで開催した。

各企業の皆様のご支援と企業賞などの商品協賛を頂き、43チーム164名が参加し大成功に終わった。

平成26年4月枚方市は現在の「特例市」から「中核市」へ移行し、大阪府で行われている多くの事務や権限の約6割の移譲を受ける。

これにより、市民のより身近なところで迅速かつ、きめ細かい行政サービスを受けること

ができる。

●移行のメリット
枚方市が中核市に移行することで、今まで大阪府が担ってきた保健所の事務をはじめとする保健衛生、福祉、環境、まちづくり、教育、文化など多くの分野で事務や権限の移譲を受ける。



北大阪技専校事務所前

より魅力的なまちをめざして
平成26年4月「中核市ひらかた」誕生

初めははんなと津田ヒルズまちづくり協会の交流意見交換会を開催

去る3月13日、吉泉産業株式会社会議室において津田ヒルズまちづくり協議会の各企業、北大阪商工会議所とけいはんな推進機構コーディネーターの方々との交流を深め、相互の発展を目指す協力体制を強化するこ

とを目的に意見交換会を開催した。交換会に先立ち、けいはんな推進機構の関係者は株式会社伸和製作所の工場見学と会議室で能美社長から会社概要の説明を受けた。交流会には、まちづく

り協議会から吉泉産業、イオンテクノセンター、三品、アスク、伸和製作所、高園産業、高園テクノロジ、サワーコーポレーション、坂本精機、島川製作所、坂本設計技術開発研究所の11社、けいはんな推進機構から二宮清



吉泉産業にて交流意見交換会



伸和製作所の工場見学

理事をはじめコーディネーター、関係者21名が参加、北大阪商工会議所から木村常務理事、谷

本管理部長が同席した。意見交換会は、けいはんなの活動紹介、まちづくり協議会の取り組み、

参加各企業の紹介などの、自由な雰囲気で行い、有意義な会合となった。

ホームページ

津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会

ホームページアドレス
<http://tsuda-science.jp>

メールアドレス
matikyuu@tsuda-science.jp



平成25年4月1日から障害者の法定雇用率引き上げ

- ・民間企業現行 1.8%→2.0%
- 雇用事業主の範囲の変更
- ・従業員 56人以上→50人以上

すべての事業主は、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務がある。障害者雇用率制度とは「障害者の雇用の促進等に関する法律」で事業主に対してその雇用する労働者に占める身体障害者・知的障害者の割合が一定率(法定雇用率)以上になるよう義務づけている。

この法律で法定雇用率は「労働者の総数に占める身体障害者・知的障害者である労働者の総数の割合」を基準として設定し、少なくとも

も5年ごとに、この割合の推移を考慮して政令で定めるとしている。今回の法定雇用率の変更に伴い、障害者を雇用しなければならぬ事業主の範囲が、「従業員56人以上から50人以上に変わった。また、その事業主には次の義務がある。

◆毎年6月1日時点の障害者雇用状況をハローワークに報告しなければならぬ。

◆障害者雇用推進者を選任するよう努めなければならない。

※4月開校の北大阪技専校では、知的障がい者を対象としたワークトレーニング科で職業訓練を実施している。

Q 障害者を雇用する場合に活用できる支援制度はあるか?

A 障害者雇用のための各種助成金や職場定着に向けた人的支援など、さまざまな支援制度が利用できる。まずは事業所管轄のハローワークに相談のこと。

ベトナム経済視察

ひらかたクラスター研究会・枚方七企業団地連絡協議会共催

今回のベトナム経済視察はひらかたクラスター研究会(会長佐々木啓益氏)、枚方七企業団地連絡協議会(会長宮武修氏)共催で、3月20日から24日の4泊5日の日程で開催。この視察には佐々木会長ら10名が参加。

初日はホーチミン市の人民委員会を表敬訪問

問。団長の佐々木会長が「今回の目的はホーチミン市における工業団地や日本からの進出企業、ベトナム企業を訪問し、会社訪問や意見交換などを通じ、相互の経済交流と現在の情勢、今後の受け入れなどの方向性について意見交換を行いたい」と代表で挨拶を行った。

ホーチミン市のレー・マーン・ハー副市長から歓迎の挨拶があり、ゲン・ヒュウ・ヤン駐日事務所長ら行政関係者も多く同席し、参加者から活発な質疑・意見交換があった。

二日目は、日本貿易振興機構(ジェトロ)ホーチミン事務所の栗原義孝海外投資アドバイザー

から市近郊の最新ビジネス情報について説明があり、続いてムンホイ鋳物工場を視察した。三日目は、株式会社タカコベトナム、津田ヒルズから進出している伸和製作所ベトナム工場(KSM)を表敬訪問。伸和製作所の能美一夫代表取締役、現地法

人のKSM松本廣昭社長から新工場の案内と進出の概要について説明を受けた。「日本はベトナムに対して世界一のODA供与国(昨年は19億ドル)で、現地ベトナムで交流した人たちは日本に対して友好的であり、平均年齢が29才と若い労働者が多いことなどからベトナムの企業団地の責任者からは日本企業の進出を熱望する」との要請があった。

参加者は「今回の経済視察は、現地でしか学ぶことのできない貴重な生きた情報を得ることができた。」と語っていた。

奇美G一行は吉泉産業、アスクを視察。それぞれの企業から会社概要の説明を受け、工場見学を行った。企業との交流を促進し、相互のビジネス機会を深めること、などである。

台南市政府の奇美グループと日台間企業の交流を!

台南市政府より開発から運営まで一括経営・括管理を任されている

国営の企業団地、奇美グループ二行5名が、5月22日、津田サイエンスヒルズまちづくり協議会を訪れた。

今回の視察の目的は、①日本の企業が積極的

に海外進出する中、国内の企業団地は如何に運営しているか、その方法と具体策

②エコ問題、環境整備、生活・文化などソフト面の環境づくりと企業間交流の取り組み

③視察を通して日台間

の交流を深めた。



佐々木団長らホーチミン人民委員会を表敬訪問



ジェットロでホーチミン市のビジネス情報を学ぶ



KSM伸和ベトナムを代表訪問 会社の玄関前にて



朝の通勤ラッシュ 若いバイク族